



7/26 見事な大ジャンプ 第7回サマージャンプ大会

サンプラー国体記念サマージャンプ大会がピヤシリシャンツェで行われました。

成年の部は伊東大貴選手（写真）が大会4連覇を飾ったほか、葛西紀明選手も2位、女子の部では伊藤有希選手（下川ジャンプ少年団）が2位、少年の部で成田祐介選手が4位に入るなど下川出身選手の活躍が目立ちました。訪れた観客はジャンプ台から飛び出した美しいV字の前傾姿勢や選手の大ジャンプに多くの声援を送っていました。



8/6 ~ 9 藤島少年少女訪問団が来名、サッカーで交流

姉妹都市山形県鶴岡市からふじしまジュニアサッカークラブ9人の子ども達が名寄を訪れ、期間中、市内の公共施設の見学や星空観察などが行われたほか、名寄ピヤシリサッカー少年団と交流試合が行われました。

気温30度の中、子ども達は元気よくボールを追いかけていました。

名寄・藤島少年少女相互交流事業は、児童がお互いのまちを訪問し、歴史、文化、産業などに対する理解を深め、相互の末長い友情を育むことを目的としています。



8/7 夏休みトークイベント「昆虫と仲良くなろう」

版画家の末武英一さん（旭川高等専門学校講師）を講師に迎え、夏休みトークイベントが北国博物館講堂で行われました。

昆虫を作品の素材やモデルとして使う技法を通して、昆虫の並べ方により作品の印象がさまざまに変わるなど、昆虫の魅力や標本作りの楽しさなどについて説明され、参加者は熱心に講師の話に耳を傾けていました。



8/23 東風連小学校、地域と歩んで開校100周年

明治37年開校のフーレベツ簡易教育所が通学域の分割のため、明治42年に東風連尋常小学校と改称されたのが始まりとされる東風連小学校。この日行われた記念式典には卒業生や歴代の教職員、そして地域の皆さんが集い、これまでの歴史を振り返りながら今後の発展を祈っていました。

校舎には特大の看板が設置され、100周年の節目を祝っていました。

同校の敷地には樺太松などとも呼ばれるグイマツ（市指定文化財）が100年の樹齢を重ねています。

